

みやわし

宮里老人クラブ新聞

第5号

会長：宮城武松
題字：喜屋武磯江
庶務：新屋千代子
広報：山下博實

伊良部トヨさん カジマヤー おめでとうございます！



祝福を受ける伊良部トヨさん
(沖縄タイムスより)

わしたみやわし会の仲間の伊良部トヨさんが、九七歳のカジマヤーを迎えられました。
十月二四日、祝賀

会が行われました。コロナ禍を避けるために、ご家族と近親者の方々だけが沖縄市のホテルニューセンチュリーに集われ

頭脳明晰 グラウンドゴルフでも大活躍



島袋政子さん
(手作り絵てがみ)

とのこと。きれいに装いされたお姿が沖縄タイムスにも紹介されていましたね。

トヨさんは、足腰が丈夫でグラウンドゴルフでは、いつも好成績をあげていらつしやいます。先日のみやわし会輪投げ大会でも活躍されました。

九十七歳でもなお元気で頭脳明晰なトヨさんにあやかっつて、私たちも豊かに歳を重ねていきたいものですね。

トヨさん、いつまでも若々しく元気で輝いていてくださいなっ！

(新屋千代子)

きょうのひと笑い (ネットより)

※ うまかった 何を食べたか 忘れたが

※ 深刻は 情報漏れより 尿の漏れ

※ 恋かなと 思っていたら 不整脈



なま、さらばんじ！

人生は70歳から！ 体と頭を鍛えよう！



熱戦に見入る 囲碁サークルの皆さん



なま、さらばんじ！ がんじゅう教室の皆さん

みやわし会の仲間、毎日、宮里公園で、ゲートボールやグラウンドゴルフを楽しんでいます。でもそればかりでは我慢できません。
毎月二回のがんじゅう教室に八人(長

寿園)、民謡サークルに四人(市営体育館)、男の民謡教室二人(かりゆし園)、囲碁サークル(かりゆし園)で二人、宮里公民館で一五人)合唱(老人福祉センター)、カラオケ講座、かりゆし体操、三線サークル等々。体を、頭脳をきたえながら楽しんでいきます。

まだまだ若い私たちです、みなさん、一緒にたのしみましよう！

(新屋千代子)



香典返しのお礼がありがとうございました。先日、御主人を亡くされた比嘉幸子さんから老人会に香典返しのお金一封の寄贈がありました。比嘉さんのご冥福をお祈り申し上げますと共に、お礼申し上げます。

ゆるやかに見守る

友愛訪問再開



お渡しした手作りの色紙

十一月半ば、宮城武松会長担当の宮里二丁目と美里二丁目の友愛訪問に、筆者が同行させて頂いてもらいました

訪問はコロナ禍で約三カ月ぶりの再開です。今回は、喜屋武磯江さんの筆書きと島袋政子さんの絵手紙をあしらった「手作りの色紙」(右図)を携えました。

歩き始めてすぐに急な坂道が続く街並み。ご家族と一緒に、あるいは独りでお住まいの方々に、声をかけていきます。外まで出て来られる方、窓越しに顔を見せる方、ベッドに寝たきりの方という

いろいろですが、お渡しした「色紙」に喜ばれる表情を見るとほっとします。宮城氏は笑顔で明るく会話しながら、状況を短くメモしていただきました。「隣近所のゆるやかな見守り」の意義を肌で感じた次第です。

四時半に歩き始めて二時間近く。十五軒ほどの訪問を終えたときは日もすつかり暮れ、体はじつとりと汗ばんでいました。(山下博寛)

思い出



遊びとけんか

山城正夫

子供のころ、大勢の友と空き地や路地で日暮れまで汗をかき、泥まみれになつて遊んだ。遊びは生活だった。

一方、遊びの中で盛んにけんかをしました。けんかは自己主張の表れである。けんかをくり返しなが



ら、相手の気持ちを探したり、自他共に長所や短所を認め、けんかをしないですむよう自己主張の方法を考えるようになった。つまり、よく遊びよくけんかをしながら

独立心や社会性を身につけ、思いやりの心を育むことが出来たのである。

遊びやけんかは子供たちにとつて最も子供らしく振る舞える自然の生活ではな

い。遊びやけんかは子供から遊びやけんかを奪ってしまうとしたら、それこそ思いやりのかけらもない行為である。

平安座島の朝起き会

新屋孝一

♪ドゥン♪ドゥン♪

まだ薄暗い午前5時、島中に太鼓が響き渡る。平安座小学校児童生徒の朝起き会が始まる合図である。太鼓を打つて

いるのは、最上級生である中学3年生で、毎日、各班交代で太鼓を打ち鳴らしているのだ。未だ薄暗い5時半、児童生徒はいっ

せいに起床し、学校の清掃・各班の清掃・ラジオ体操・朝読みを始めるのであった。まだ覚めやらない目をこすりつつ学校に割り当てられた班は登校して学校の清掃を、その他の班は各班の清掃をし、それから、ラジオ体操が始まるという決まりであった。

卒業後も先輩後輩の絆が強く結ばれ、各方面で助け合い、支え合っている。師や先輩を信じ、ひたすら頑張った少年の頃が、あの純粋さが懐かしく思われる。

清掃終了後は家にもどり、大声を張り上げて「朝読み」を励行した。朝食を済ませ、きれいに清掃された通学路を友達と連れ立って登校し平安座つ子の一日は始まるのであった。

午後5時になると、どの家からも元気な「夕読み」の声が聞こえていた。まるで競争でもするよう



「子供のころの思い出」写真投稿募集

◆幼いころに無邪気に楽しく遊んだ思い出
◆多感な頃のちよつとやんちゃな思い出
◆あの若き日に、甘く切なく時に激しく燃えた恋ごころなどなど。
二〇〇字以内。紙面を明るく楽しく埋めてください。

あとがき
▼コロナ禍で静かな日々が続きます。十一月のトピックは見合わせていた幾つかのみやわし会の催しを、安全を最優先に開催できたこと▼グラウンドゴルフ、輪投げ大会等々、三〇名余りの方が参加されました。宮里自治会だより十一月号に詳しく紹介しています▼会場は換気性抜群の宮里公園広場。参加者は、着くと同時に検温と健康状態がチェックされます。マスク姿の皆さんの「久しぶりね。元気だったね」と、再会を喜ぶ挨拶が飛び交っていました▼我々の年齢にとつては特に忌まわしいコロナ禍。家族からも周囲からも自粛を求められます▼状況を判断しながら安心して集える機会を、これからは役員一同で企画していきたいと思っています。
(広報：山下)

十月一日発行のみやわし第3号は、第4号の誤りでした。お詫びして訂正いたします。